

# 阿波根昌鴻 写真と抵抗、

そして島の人々



2024年

2月23日(金) - 5月6日(月)

## 原爆の図 丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子 1401

TEL : 0493-22-3266 FAX : 0493-24-8371

主催 : 原爆の図丸木美術館

共催 : わびあいの里、島の宝・阿波根昌鴻写真展実行委員会

企画 : 小原真史

企画協力 : 阿波根昌鴻資料調査会、東京工芸大学、小原佐和子





あはごんしょうこう

阿波根昌鴻（1901-2002）は沖縄戦後、米軍に占領された伊江島で農民たちと共に非暴力の土地闘争を行った人物として知られています。阿波根は「銃剣とブルドーザー」と呼ばれた強制的な土地接収や米軍の横暴、射爆演習場による被害を記録するためにカメラを入手して1955年から島の記録を始めました。島で唯一のカメラを米軍に抵抗する手段とした阿波根は、「乞食行進」と呼ばれる行脚や陳情を展開するなかで沖縄における「島ぐるみ闘争」の一翼を担うようになりました。

生前、唯一の写真集として『人間の住んでいる島』（1982年）が出版されていますが、ここに収録された闘争の写真以外にも島の人々の肖像や日常を写した写真が数多く遺されていることが分かりました。

本土での初めての展覧会となる本展では、3000枚以上ものネガから新たに制作したデジタルプリント 約350点を展示します。「沖縄のガンジー」と呼ばれ、平和運動家として知られる阿波根の写真家としての側面をご覧ください。

【関連企画】

2024年4月20日（土）午後2時

トークイベント「人間の住んでいる島」

出演：比嘉豊光（写真家）× 玉城睦子（伊江村立西小学校元教頭）×

小原真史（本展キュレーター、東京工芸大学准教授）

参加無料（当日の入館券が必要です）

表面上：演習地・十字架の看板を立てて訴える若者 1955年／表面下：2人の子供 1955-67年／裏面上段左から：米軍の鉄条網と制札 1955年、本山のおばあ 1955年頃、阿波根昌鴻屋敷跡 1955年、陳情小屋前の阿波根昌鴻 1955年／裏面下段左から：琉球政府前から始まった乞食行進 1955年、真謝の牛 1955-67年、演習で使われた1トン爆弾 1955-67年、真謝の子供・山羊 1955-67年



# 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401  
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

【開館時間】 午前9時～午後5時（12月～2月は午前5時半～午後4時半）

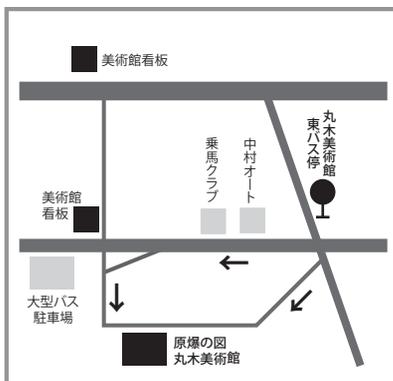
【休館日】 月曜日（祝日の場合は翌平日）、4/23～5/6は無休

【入館料】 大人900円 中高生または18歳未満600円 小学生400円  
団体（20名以上）、60歳以上、チラシ持参者、比企地区在住者100円割引 障碍（しょうがい）のある方は半額

【URL】 <https://marukigallery.jp/>

【Eメール】 [info@marukigallery.jp](mailto:info@marukigallery.jp)

【交通】 ●東武東上線森林公園駅よりタクシー10分、徒歩50分  
●東武東上線東松山駅より市内循環バス唐子コース（日祝運休）「丸木美術館東」下車徒歩15分  
●関越自動車道 東松山インターより小川方面10分  
●東武東上線つきのわ駅から徒歩30分  
詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



【市内循環バス時刻表（日祝運休）】

東松山駅東口発	丸木美術館東発
丸木美術館東行	東松山駅東口行
08:45	10:42
10:10	11:42
11:10	12:42
12:10	15:02
14:30	16:07
15:35	17:32